



豊かな海は、私たちが守る！

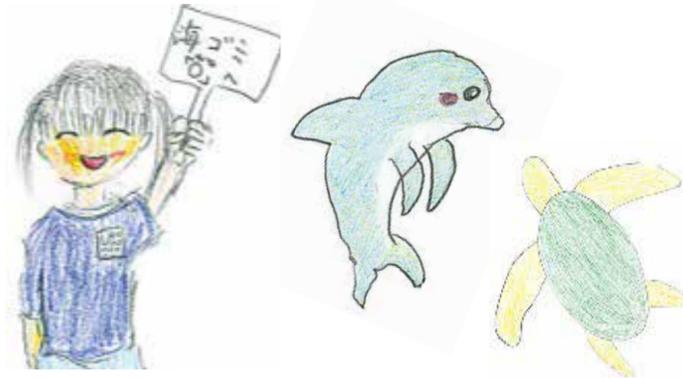
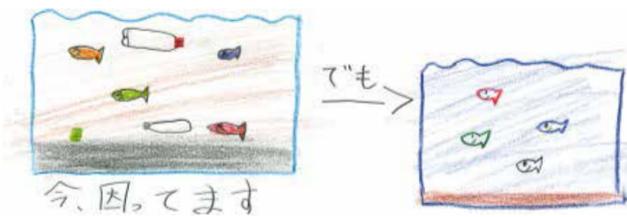
大好きな海をみんなで守ろうー。

日本財団が推進する「海と日本プロジェクト in 香川」の一環として子どもたちに海の楽しさや環境について考えてもらう

「かがわ sea マスター しまうみ探検隊」が8月1、2日、

三豊市仁尾町などで1泊2日の日程で行われました。

隊員に選ばれた県内の小学5、6年生計25人は、瀬戸内海の魅力を肌で感じながら、環境を守ることの大切さや海の安全について学びました。



「しまうみ探検隊」の隊員25人は、三豊市仁尾町の浜辺や粟島で清掃活動に取り組み、たくさんの海ごみを回収しました。意見発表では「ごみをきちんと分別し、ごみ箱に捨てる」「必要のないものを購入しない」などの対策が提案されました。きれいで豊かな瀬戸内海を次の世代の人たちに残せるよう、自分たちができることを考えてみましょう。



海の恵みに感謝して、命をいただく。



「しまうみ探検隊」の隊員たちは三豊市仁尾町の海岸で、地元の人に教わりながらお魚さばきに挑戦！「包丁で魚をさばくのは初めて」と話す隊員も多く、みんなときどきしながら魚をさばき、バーベキューで味わいました。粟島では、海ホタルを観察。ある隊員は「みんなで海の環境を守り、海を大切にしなければいけない。」と話してくれました。



県内の児童 25 人が探検隊に！

大好きな海をみんなで守ろうー。

日本財団が推進する「海と日本プロジェクト in 香川」の一環として子どもたちに海の楽しさや環境について考えてもらう

「かがわ sea マスター しまうみ探検隊」が8月1、2日、

三豊市仁尾町などで1泊2日の日程で行われました。

隊員に選ばれた県内の小学5、6年生計25人は、瀬戸内海の魅力を

肌で感じながら、環境を守ることの大切さや海の安全について学びました。



ライフジャケットの大切さを学ぶ



仁尾町の海岸では、ライフジャケットの役割や装着方法、役割を教わり、「備え」の大切さを学びました。「体がふわふわと浮いてびっくり。とっても頼もしい」



「ライフジャケットは、海でパニックになっても守ってくれる“命綱”。必ず着用するようにしたい」と話す隊員も。海を安全に楽しむため、海の備えをしっかりしたいですね。



楽しい海を安全に。



「しまうみ探検隊」の隊員たちは、備讃瀬戸海上交通センターで管制室の見学や管制官の業務を見学しました。管制官のアドバイスを受けながら、シミュレーターで通信体験にも挑戦。海の安全を守る仕事の大切さを学びました。